

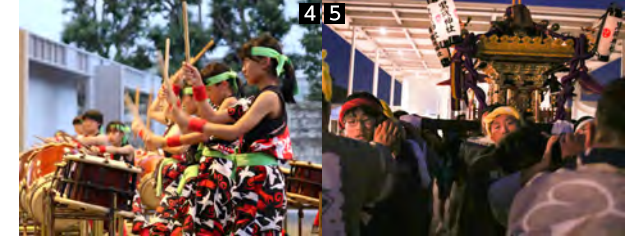
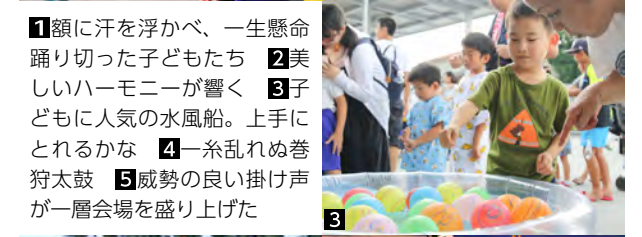


12 みんなを笑顔にしてくれる仮装大会
 3 豪快に水を運ぶ、毎年大人気のそすいレース 45 疏水太鼓とおはやしの音色が会場に響き渡り、夏のお祭りの雰囲気演出



まちづくりの新たな拠点オープン
 ～まちなか交流センター オープニングイベント～

まちなか交流センター「くるる」の開館を記念し、7月31日にオープニングイベントが開催されました。黒磯小学校の児童によるよさこいソーランや、黒磯中学校合唱部のステージ。さらには、黒磯巻狩太鼓や地域のバンドの演奏など、盛りだくさんのイベントに会場は多くの人で賑わいました。黒磯神社の天王祭と同時開催となったこの日、夜には神輿も駆けつけ、イベントは大盛況のうちに幕を閉じました。



1 額に汗を浮かべ、一生懸命踊り切った子どもたち 2 美しいハーモニーが響く 3 子どもに人気の水風船。上手にとれるかな 4 糸乱れぬ巻狩太鼓 5 威勢の良い掛け声が一層会場を盛り上げた

西那須野地区の夏といえば西那須野ふれあいまつり。今年も西那須野駅西口を会場に、7月28日に開催されました。昨年同様、台風の影響により1日順延しましたが、当日はとても暑く、会場も呼応するかのよう熱気十分。迫力のあるお神輿の掛け声、疏水太鼓やおはやしの心地よい音色が会場に響き渡るなどお祭りムードは満点。そすいレースや仮装大会は大歓声に包まれ、日が暮れるとふれあいまつりの代名詞、流し踊りの行列が観客の目を楽しませてくれました。



西那須野
 ふれあいまつり



67 会場のあちらこちらで楽しいイベントが 8 華やかな装いの行列、流し踊り 9 威勢のいい神輿は見ているだけで気持ちがいい 10 会場は多くの人でにぎわった



どんなものが作れるかな？
 ～ART369プロジェクト～

ART369プロジェクトの一環の「アーティスト・イン・レジデンス」。参加者とアーティストが共同で作品を制作するこの取り組みでは、アーティストの「S+N laboratory」が7月31日に三島保育園を訪問し、ワークショップを開催しました。手のひらサイズの色画用紙に色紙やクレヨンなどで自由に装飾する子どもたち。想像を膨らませ、動物の顔にしたり、新幹線をつくったり、大人では考えつかない独創的な作品が数多く生み出されました。



身近な相談役として住民と交流活動
 ～市長一日民生委員・児童委員～

誰もが安心して暮らし続けられる社会の実現のため、地域の身近な相談員として活躍している民生委員・児童委員。7月26日、渡辺市長が一日民生委員・児童委員に委嘱され、高齢者見守り活動を行いました。市長は、西三島地区の高齢者とともに「いきいき百歳体操」に参加した後、同地区に住む同居高齢者の自宅を訪問し、「食欲はありますか」や「これからも元気でいてください」と声を掛けていました。